

## 平成25年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	元風ネット
議員名	金濱 元一 ・ 南川 達彦
調査実施年月日	平成25年5月21日
調査先 自治体名等	京都府 京田辺市役所 「宝生苑(大住ふれあいセンター)」
調査項目	老人福祉センター・児童館複合施設について
調査目的	世代間交流施設の運営
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：64,636人(H24.4.1現在) 行政面積：42.94 km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容 京田辺市役所 健康福祉部 部長 白井様、子育て支援課 課長 津路様、高齢福祉課 課長 長田様にお話をうかがった。 視察した施設「宝生苑」は、平成17年に老人福祉施設と児童館機能を合わせた複合施設として設置された。 施設周辺に同様の機能を持つ施設がなく、周辺市民よりかねてより要望があったことを背景に設置された。 複合施設として設置した目的としては、世代間交流が行われ、人づくりの拠点となることとされている。 施設内には、高齢者用の浴室、マッサージチェアなどのある健康推進室、カラオケルームがあり、こども用の施設としては各年代ごとのあそびの部屋3室、パソコンルーム、授乳室がある。 共通に利用できるものとして、調理室、交流ホール、グランドゴルフ場、遊戯広場があった。 見学時にも多くの高齢者の方々がおり、大変に満足している様子がうかがえた。子どもたちは学校の時間や保育所・幼稚園の時間によって来館しているということであった。世代間交流については、施設開設当初は、自然に交流がされるという考えでいたが、現実的にはあまり交流が図られなかった。そのため、交流を促す企画として、高齢者から教えてもらうグランドゴルフ、もちつき、凧作り、囲碁教室、劇の観賞などを行っている。最近、施設利用者側からの企画の提案も出るようになってきたということだった。 その他に、大学との連携事業なども行っている。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること 等	<p>本市においては今後、建設を計画している複合公共施設で世代間交流を図るということを考えており、今回の視察は大変に参考になった。 世代間交流を促進するためには、ハードだけ整えてもなかなか実現せず、やはりソフト面もしっかりと考えていかなければいけないという点は、今後の施設のあり方の中で検討していきたい。 「宝生苑」には老人福祉施設・児童館の両方への専属の職員を置いているためそれぞれへの配慮が非常に丁寧にされていた。本市の複合公共施設を考える際にも利用する方々へのサービスを専門とする方々からの意見を取り入れる必要があると感じる。</p>